

眼科のご案内

当院眼科では安全、負担軽減を第一として術後経過観察を含めた1泊2日か2泊3日での白内障手術を行っております。今年度新しい機械を入れ替え導入いたしましたので、眼科の取り組みについてお知らせいたします。



眼科手術顕微鏡 (M822) ライカ社

前眼部手術及び後眼部手術を、常に良好な視野で手術ができるように、ビジュアルライゼーション機能やデュアル証明システムが組み合わされています。また、透過率が高い為に、より自然な像が見られるので、一層安心安全な手術を行える環境を提供されます。

超音波白内障手術装置 (CENTURION) アルコン社

センチュリオン白内障手術装置には、白内障機器唯一のACTIVESENTRY ハンドピースが接続できる事により、眼内での灌流圧をハンドピースでモニタリングする事が可能となります。眼内（前房）が極めて安定され、安心安全な白内障手術を行う事ができるようになります。ハンドピースは破砕効果に優れ、熱発生を少なくする事が可能となり、創口や角膜内皮への障害を防止できるようになりました。



眼科 北原医師よりコメント

Q1 使用してみたの感想

手術の安全性が向上し、以前より手術後の状態が良くなりました

Q2 どういったところが変化したと感じていますか

患部の観察のしやすさと破砕効果の優れにより、創口や角膜内皮への障害が防止できるようになりました

Q3 どちら辺が患者負担軽減につながっていますか

緻密な操作により、手術時間の短縮と処置の安全性が上がりました

Q4 どういった患者さんを診ていますか

白内障手術を中心に眼科一般的な患者さんを診ています

月に20件弱、白内障手術を行っております。

是非お問い合わせ・ご紹介のほどよろしく願いいたします。

